

会報

日本勤労者山岳連盟（富山県連盟）
新日本スポーツ連盟

三島野スポーツクラブ



No. 291

2024年12月1日

代表 岩井 富雄

射水市宝町 1364-35

TEL・FAX 57-8180



小矢部川と二上山 小木 清 画

12月・1月の企画案

- ◇ 12/8 越知山
- ◇ 1/1 元旦登山 二上山
- ◇ 1/19 来拝山
- ◇ 2/14~15 冬のBIG企画
北八ヶ岳・北横岳

山行報告

- 11/3 労山県連交流登山
文殊山
- 11/9~10 富士を愛でる山旅
宝永山 & 中之倉峠
- 11/17 戸倉山

予告案内 **第27回定期総会**

12月・1月企画案内

12/8(日) 越知山

おちさん 612.8m 福井市/越前町

会報No.290 で案内の通り
11月28日で参加申込を
締め切りました。

1/1(水) 元旦登山 二上山

お正月恒例の企画。事前の参加申込・受付を行いません。
希望者は元旦の朝5時30分に城光寺野球場前に集合し
てください。的場邦夫が待っています。
また、まなび交流館からなどどんなコースから登っても自由
です。7時00分に山頂で合流しましょう。

2024年元旦登山 二上山山頂



1/19(日) 来拝山

カンジキ登山 らいはいやま 899m

立山青少年の家から南尾根ルートに登ります。

標高差 約 250m 登り 2時間 下り 1時間 30分
カンジキを装着して雪山に登り、下るので

体力・技術度 ★★☆☆☆ L: 岩井富雄

参加申込は1月9日まで岩井富雄 SMS 090-5177-9255 へ

来て拝む立山信仰ゆかりの
山を雪上ハイク
雪の立山連峰が一望できれば…



2/14(金) ~ 15(土) 北八ヶ岳 北横岳

きたよこだけ 2480m 長野県茅野市

冬はスノーシューで気軽に冬山を歩けるので初
心者に人気があり、アイゼンを装備して本格的な
冬山登山を北横岳で楽しむ、雪山登山入門コース。
ロープウェイで2237m坪庭自然園へ。そこから
2時間のカンジキ登山で北横岳ヒュッテへ。
山頂から雪を抱く赤岳など南八ヶ岳、そして、
目の前に大きな蓼科山。素晴らしい雪の山岳展望
が楽しめます。

1日目	北八ヶ岳ロープウェイ	坪庭	北横岳ヒュッテ	山頂
	登り 250m	歩行時間 1時間 45分		
2日目	北横岳ヒュッテ	縞枯山 (2403m)	坪庭経由	ロープウェイ山頂駅
	登り 150m	下り 350m	歩行時間 4時間 30分	

詳細な案内は
次号会報No.292
1月1日付に掲載
します

参加申込締切日 1月10日まで塚 良昭 SMS080-8033-7427 へ

冬季営業は1ヶ月前からキャンセル料金が発生すること。北横岳ヒュッテが15人のみの収容に制限して
いるので早めの予約が必要のため。

開催予告

第27回定期総会

と き 2025年2月8日（土）午前10時から

ところ 中太閤山コミュニティセンター

※ 当クラブも高齢化の傾向から脱していません。後継者をどうしたら作ることができるのか？高齢化した条件のもとでも頂に立ち、これからも生きる元気を共有できるクラブづくりをどうしたらできるのか？いっしょに考える機会だと思います。

※ 予め、カレンダーにスケジュールをメモって、万障繰り合わせて多くの会員の参加が参加されることを願っています。日頃顔を見せない会員諸氏が顔を見せてくれることが世話するものにとって、何より元気がでてこれからも山歩きの世話をするエネルギーが湧く源泉となります。



過去の総会風景

を願っています。日頃顔を見せない会員諸氏が顔を見せてくれることが世話するものにとって、何より元気がでてこれからも山歩きの世話をするエネルギーが湧く源泉となります。

※ 総会終了後、懇親・交流の場を持ちたいと思います。イタリアンの店から取り寄せた特製オードブルでランチをともにしながら「思い出の山」「人生のあれこれ」などを交流したいと思います。

2025年の企画について

12月3日（火）と12月17日（火）14時からの世話人会を「2024年の企画について」の意見や希望を交換する拡大世話人会として開催します。会員の誰もが参加して希望を述べる機会とします。

クラブにとって年間企画は最も重要な課題です。一人でも多くの会員の希望が反映できる企画を総会で提案したいと思います。



3月の企画案内

世話人会で未定だった3月企画を決めました。

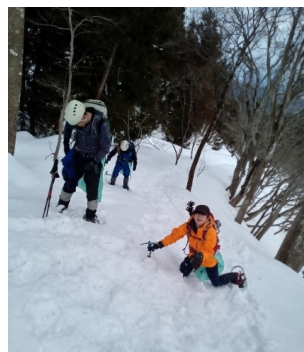
3／2（日）

雪上訓練 南砺市井口 丸山

3／16（日）

しらはげやま

白兀山（医王山）



山行報告

11/3(日・祝)

労山県連交流登山

文殊山

365m

メンバー：(L) 的場邦夫、塚 良昭、荒井英治、川渕順正、山本則夫、仲西雅子、有澤真知子、守田清子

【行程記録】

薬勝寺池駐車場	7:30	▲ 16:30
文殊山二上駐車場	9:45	14:20
二上登山口	10:15	13:45
小文殊	11:00	13:10
展望ポイント	11:25	13:00
文殊山	11:35	12:45
文殊山(奥の院)	▼ 12:00	12:35

ひとくち感想



的 場： 3月に実施予定の交流登山(猿山)が地震の為に猿山に行けなくなり11月3日に延期になった。場所も文殊山(福井県)に変更して実施した。文殊山はピストンじゃなく横断する予定だったが前日の雨の為、登り易い二上登山口のピストンになった。この日は毎年恒例の文殊祭りの日だった(現地で初めて知った)ので駐車場は満車で路駐も沢山あった。我々はバスなので近くで降りて登山口へ行ったがイベントの真っ最中でにぎやかだった。登山者がわんさかいて登りにくいのではと心配したがさほどではなかった。労山6人三島野スポーツクラブ8名富山HCが8名の総勢22名でクラブ別に行動し、小文殊山、文殊山で待ち合わせ記念撮影し迷惑にならない様に行動した。天候も良く気持ちの良い交流登山になりました。

川 渕： 山行前日、台風崩れの低気圧で荒れ模様の天気。ひどい雨でした。てっきり山道はぬかるんでいると思っていたが、その懸念は杞憂だった。登山道はよく整備され、実に歩きやすく、変化に富んだ楽しい里山でした。聞けば、地元の信仰の山でもあり、住民の気軽なハイキングコースでもあるという。おり良く、当日は「文殊やまのぼり祭」が開催され、たくさんの住民が軽装で、おのおの山歩きを楽しんだり、麓でのイベントを楽しんだり...。住民や、方々の人から愛されている里山であることを肌で感じた。天気もよく、登山道からは奥越山塊の上に白山も見え、福井平野も眼下に一望できて、秋の一日を堪能した山旅でした。

山 本： 2022年4月9日に三島野よりカタクリの花を見に行きましたが、丁度見頃でとても綺麗だった印象が脳裏に浮かびます。カタクリ・ツツジ・あじさい、また秋の紅葉など自然豊かな里山として知られていますが、気温が高いせいか紅葉は少し先のようなでした。11/3二上登山口駐車場で登山のイベントがあり下山時に美味しい豚汁、そば等頂き満足・満足！

守 田： よく整備された登山道でした。イベントと重なり沢山の人が登っていました。市街地から近く気軽に登れて愛されている霊山という感じでした。バスで行くのも初めてで楽しかったです。

塚： 前回三島野 SC から文殊山へ行ったのは、2年前の4月でした。その時はカタクリが一面に咲き、桜も盛で綺麗でした。今回は里山の紅葉を期待しましたが、少し早かったです。しかし「文殊やまのぼり祭り」のイベント開催中で、ヨサコイや音楽演奏、物品販売等があり、沢山の人が祭りや登山を楽しんでいました。山頂では白山や昨年登った日野山がクッキリと見えました。下山後には振る舞いの鍋料理を食べたり、ビンゴゲームで賞品が当たったりと楽しませて頂きました。



有 澤： 前日までの雨で地面の状態が心配だったが思ったより乾いていてホットする。歩き始めは道幅が広く樹林のトンネルが気持ち良かった。途中に見おろすと小高い山が広がる田んぼに点在しこの地域の景色を感じた。途中から上りがきつくなり相変わらずの自分を感じる。イベントがあり老若男女が登っていて親しまれているようだった。我が家の近くにもこんな山があればなあと思う山だった。、

仲 西： 前日までの雨が嘘のように晴れ渡り絶好の登山日和になりました。交流登山初参加で交流するほどまでは行きませんでしたでしたが所々出会うことができ一緒に頑張って登っている思いになれました。文殊山は時折木々の間からの眺めが良く山頂からの見晴らしも気持ちのいいものでした。また、途中に大きな岩と岩の少しの間をくぐり抜ける自然が作り出した神秘的な岩のトンネル「胎内くぐり」も通れ楽しみながら安全に山登りができました。皆さんに感謝感謝です。

荒 井： 医王山クリーンハイク登山から5ヶ月ほど会山行に参加していなかったので、久しぶりの集団登山でした。2時間程の高速道路走行も車窓からの景色を見ていると、眼前の地形がどんな地殻変動プロセスを経て出来上がってきたのか、色々思いめぐらして楽しめたので、退屈しなかった。現地に着くと、ラッキーにも『文殊山登山祭り』のイベントが開催中で、色鮮やかな衣装を纏った小中学生や若い女性たちが拍子木のような和製カスタネットを掌で鳴らし、音楽をバックに派手な踊りを披露していた。登山口の傍にあ



る広くはない駐車場を会場にしているので、混雑感、賑わいは実人数以上に感じた。豚汁の無料サービスを始めとして色々な飲食のテント屋台が並んでいて楽しそうなので、山に登らないで、此方の祭りに参加していたい誘惑に駆られた。「おらが村の祭り」感があって親しみのもてるイベントだと思った。登山の方は、登山祭りと銘打つだけあって、小さな子供の手を引いた家族連れや、小学生・中学生、高校生のグループが多くいて、いつもの登山とは雰囲気違って、お祭り気分が漂っていた。三島野グループは奥の院まで足を延ばしたので、アップダウンがいくつもあり、結構疲労感があったが、富山勤労者山岳会の宮崎さんとも会えて近況を聞くことが出来て良かった。

山行報告 11/9(土)~10(日) 富士を愛でる山旅

宝永山 & しょうじ精進湖 パノラマ台

静岡県富士宮市・御殿場市 (2693m)

山梨県富士河口湖 (1328m)

メンバー：〈L〉 的場邦夫、〈SL〉 加藤日出子、山本則夫、森田絹代、林 憲彦、塚 良昭、守田清子、石黒洋子、今村和子、松田理恵子、堀井泰則、岩井富雄、新田俊明、甲 かほる

【行程記録】

「宝永山」

スタート	12:23
富士宮口五合目	12:31
富士宮口新五合目	12:56
六合目雲海荘前	12:59
宝永第一火口縁	13:11
宝永第一火口底	13:20
宝永山頂	14:11
宝永第一火口底	14:42
宝永第一火口縁	14:52
宝永山荘前	15:06

六合目雲海荘 15:10

富士宮口五合目	15:31
ゴール	15:32

「中之倉峠」

スタート	7:53
中之倉峠	9:21
折り返し点	9:00
中之倉峠	9:28
ゴール	9:50

ひとくち感想

林：宝永山登山は、トップとシンガリがずっと離れてしまい心配しました。ずっと見通せる登山道でしたが皆さんへの配慮が有ったら良かったと思いました。私も遅ればせながら宝永山に辿り着け嬉しく思っています。これからも登山を続けていける自信になりました。高齢者を労わってくれたメンバーに感謝します。



富士スカイライン五合目宝永山登山口



中之倉峠から霧の中の幻の富士山を愛でる



宝永山頂にて（背景は富士山頂）

今 村： 富士山表口5合目登山口(2400m)から宝永山を登る。ジャリジャリの火山灰の道は、とても歩きにくい。宝永山頂上(2693m)は、飛ばされそうな強い風。すぐ近く北西方向？に、富士山がどーんと聳えて立つ。北側？には河口湖と精進湖が遥か下にみえる。素晴らしい眺め。宿の岳心荘に向かう途中、夕焼けに染まったオレンジ色の赤富士に出会う。みんなでうっとり。写真撮りまくり。青空に聳え立つ優しい富士山は、最高に素敵。14人の旅行は、にぎやかでとても楽しかった。リーダーさん、運転手の的場さん、山本さん、新田さん、ありがとうございました。

石 黒： 富士宮口5合目から登り始め、火口が見えたときは雄大で美しい姿に驚きました。赤茶けた山の柔らかい砂地を一步一步滑りながら進んでいくと、ようやく馬の背に出てほっとしました。2693mの山頂には立派な標識が立っていて、眼下のパノラマ風景や第一火口越しの富士山頂が鎮座する絶景を愛でることができました。山頂がすごく間近に見えるのが不思議でした。風当たりが強い山で這いつくばるように横に伸びるハイマツにも力をもらいました。皆さん、楽しい山行をありがとうございました。



第一宝永火口縁から宝永山

甲： キャンセル待ちから始まった「富士を愛でる山旅」でしたが、14名のメンバーに入れていただき本当に嬉しかったです。大変かもしれませんが、希望者全員が参加できる工夫もしてほしいなと思いました。今回は、ちょっとハードな富士山の宝永山火口縁へ登るコース。第一火口縁は別世界でした。初めて見る光景。かつて見た「猿の惑星」を思い出しました。少しずつ地震や雨風等にさらされながら今も風化している自然の怖さを感じました。それにしても、富士山はやっぱり偉大でした。いつまでも誇れる富士山にしていきたいものです。長い旅の運転、一人ひとりを大切にされている企画づくり等、ありがとうございました。

堀 井： 一日目、車中から覗く黒い富士山はちょっと残念、観測史上冠雪が最も遅いとか。定番の雪の帽子をかぶった富士山を仰ぎたかった。今回のメインイベント宝永山は青空のもと、宝永火山の大きな火口跡を一望してきました。足の遅い私についてはいけず隊列を乱して独り歩きになってしまいました。なんとか大きなすり鉢状の噴火口跡の底まで行きましたが、そこから標高差 300m近くを登り返して宝永山の頂をめざす体力はありませんでした。宝永山企画は昨年の山梨側の“御中道”に続き、“富士を眺める”から“富士の懷にとびこむ”企画で良かったです。

二日目のパノラマ台は小雨の中の登山となって、私は富士山が雲で見えない展望台で折り返しました。「雪の無い富士はつまらない」ので“まあ、いいか”と。それにしても、富士山の向こう側へは遠く、富士山麓を車でひと回りしたドライブでした。

岩 井： 富士山は、遠くから眺める山であると改めて思いました。リーダーの的場さん、運転手の皆さん有難うございました。



小雨降るなか中之倉峠へ

守 田： 初めて富士を愛でる山旅に参加し、宝永山に登ることができ、感動と高揚感でいっぱいだった。ここは火星？と思うような赤茶けた火口砂礫の急坂を登り切ると山頂は強風だった。みんなで写真を撮るのに懸命。やっぱり富士山はすごい！お世話していただいた人に感謝しかない。

加 藤： 長い距離を車中から富士山が目に見え、飛び込んで、写真を撮り楽しんだ～富士5合目駐車場に到着した。富士宮5合目2400mから登り始める。火山灰と軽石に足をとられ登り傾斜で息も絶え絶えだが、青い空・雲海・カラ松の黄金色と火口が見え雄大な景色は素晴らしかった。馬の背まで来ると宝永山が見えて辿り着いたが、山頂は突風で集合写真を撮って早々に下山した。下りは砂走りで軽快に楽しく降りられた。富士の長い裾野や過去最大（ドデカイ）富士山に、赤富士～瞬間で変色富士 etc 今回は様々な富士山のお姿を見られ感無量です。〔富士山を愛でる山旅〕思い出の1ページとなりました。感謝(^_^)v



赤富士を仰ぐ

塚 場： 天候にも恵まれて雄大な富士山を堪能しました。珍しい赤富士も眺められたし、宿の料理もよく、美味しいお酒で楽しく懇談出来ました。

的 場： 「富士を愛でる山旅」で14名の参加は初めてです。1日目の宝永山は青空の富士山の5合目まで車で行き富士山の姿を満喫した。レンタカーのガス欠で心配をかけてしまったが頂上を踏めて良かった。ガス欠も解決して旅館で大盛り上がりして楽しかった。二日目はあいにくガスで富士山展望はダメでしたがそれなりに楽しんだ。早くも来年の富士山の話が出た。今から楽しみです。

松 田： 富士山の成り立ちを確認するような宝永山への道でした。強風に舞い上がる火山灰。たどり着いた達成感はあるもののやはり富士は眺める山ですね。一足早い忘年会は楽しかったです。

山 本： 今回で3回目の参加になりますが、高速道路から見る日本最高峰の独立峰富士山は、近づくにつれ大きく優美な風貌で何度見ても感動しました。宝永山に向かう途中の稜線から全体像が見えて来ましたが、山頂は赤茶色、周囲が火山灰と異様な光景に見えました。

新 田： 富士山の周りから富士を眺める山旅も乙なものですが、独立峰「富士」の標高2693mからの展望は格別でした。雲海の切れ間から遮るものがなく眼下に山中湖と覚しき湖が見えたときは感動的でした。

森 田： 立山連峰は白いのに、富士山は青かった！その分、暖かかったのかも。雪はなくても富士山の圧倒的な存在感や美しさを、十分に愛でることができました。翌日は残念ながら雨だったし、お宿のお風呂が思ったより小さくてガチャガチャしたりしたけど、そのすべてが本当に楽しかったです。今から、来年の「富士を愛でる山旅」を楽しみにしています。ありがとうございました。



盛りあがった夕の宴

山行報告

11/17 (日)

戸倉山

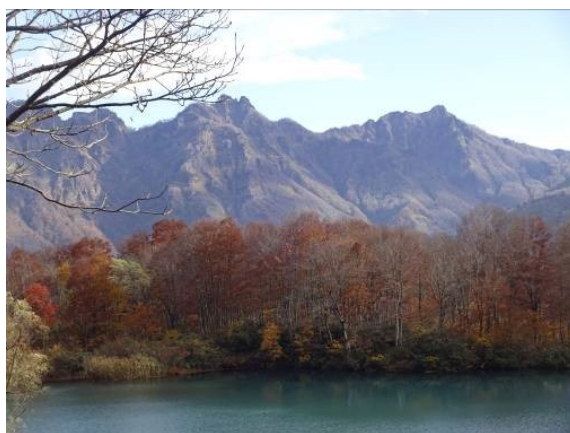
メンバー：(L) 的場邦夫、(SL) 松田光恵、塚 良昭、加藤日出子、松田理恵子、
草 進、堀井泰則、岩井富雄、仲西雅子、石黒洋子

【行程記録】

薬勝寺駐車場発	6:50
しろ池の森駐車場着	8:15
登山口発	8:30
しろ池	9:00
角間池	9:30
戸倉山	10:25
山頂発	10:55
大網峠	11:30
角間池	11:45
しろ池	12:05
登山口	12:30
塩の道温泉	13:10
薬勝寺駐車場着	16:20



上・山頂にて集合写真
右。しろ池と海谷山塊



ひとくち感想

石 黒： 素晴らしい紅葉に浸りながら歩く山行でした。「すごい！きれい！」と何度も言ってしまいます。エメラルドグリーンのしろ池や角間池、ブナの森、紅葉した木々の中から見える頸城山塊や雨飾山、パッチワークのように紅葉した山を眺めながら、変化に富んだ山道を落ち葉をカサカサと踏みながら歩くのが楽しかったです。山頂では360度の展望、山々が力強い姿でカッコ良かったです。天気も大丈夫で、行きは半袖でも良いくらいで、帰りに少しだけ雨具を着ただけでした。塩の道温泉につかり、体が温まりました。帰り道の車にすごい勢いの雨が降ってきましたが、山行中は晴れ男、晴れ女さんのおかげで楽しい時間でした。皆さん、ありがとうございました。

加 藤： 雨飾山の西に位置する晩秋の戸倉山へ、まだまだ紅葉を楽しもうと向かった。駐車場からは鋸山の一際鋭く、主張した山を目にし歩き始める。陽を指す紅葉を眺めながら、しろ池超しの海谷山塊や、北アルプス等堪能しながら歩いた。山頂からは360度眺望が素晴らしい。白い白馬～五竜、今年登った明星山、黒姫山が目の前にドーン!!!そして、雨飾山は尖ってた(@_@)何度もキャンプして登ったが急峻の山と証した。腹一杯 眺望を楽しんで下山した。大網峠からブナ林の中を、フカフカ落葉で気持ちが良かったなあ!!今回も楽しい山行に感謝いたします。合唱(^_^)

草 : ブナ林の散り葉が、足元をサクサクと心地よい歩きにさせてくれ、湖面からの眺望の紅葉も素晴らしいと感じられ感激。山頂では重い曇り空ではあるが雨の心配もなく360度の眺望が楽しめ、下山も落ち葉を踏みしめて快い歩きが楽しめた戸倉山。もう一度行きたい山の一つに加えたい。

的 場 : 登山口に着いたら薄日が差し頸城山塊がくっきりと見え思っていた以上に登山日和でした。紅葉真っ盛りのゆっくり林道を進み分岐の登山口へ。この山はこれで4度目だ。毎回毎回違った顔で新鮮だ。しろ池では絶景に見ほれ角間池では見事なブナ林を感動しすっかり葉を落として見通しが良く、所々に残る紅葉に美しさを感じた。頂上では曇りだったが眺望もよく満喫できた。

岩 井 : 一部に青空が見える空で安心しました。雨飾山、遠くには白馬岳の北に連なる山々が薄っすらと雪化粧していて眺望は素晴らしいものでした。「塩の道」の一部を歩いて、遠く昔の人達の姿を想像しながら歩く。「昭和に入り、姫川沿いに鉄道が敷設されたことから、活躍の場は少なくなり、昭和32年に小滝～平岩間が開通したことにより、ボッカの時代は、ほぼ終わりを告げました。」(塩の道資料館より)

松田光 : 天気予報の雨ふりを気にしながらの出発。紅葉盛りの山影を愉しみながらしろ池、角間池を過ぎ見事なブナ林、立派な雨飾山を見ながら気持ち良く登頂。頂上は曇り空ながら360度の眺望が楽しめ感動の山行でした。ありがとうございました。

仲 西 : 頂上からは雨飾山がきれいに見ることができ山々に囲まれながらのコーヒーの味はいつでも最高です。紅葉には少し遅いようでしたが所々に残る色鮮やかな木々、ふかふかの落ち葉の絨毯、ブナ林や二つの池等の美しさの自然に感謝でした。帰りの温泉はトロトロとした泉質で疲れた体には最高でした。

松田理 : 今季初めてで最後かなと思える紅葉でした。思いがけない青空に恵まれ、美しいブナの森を歩き、しろ池に映る山並みも素晴らしく楽しい山行でした。不死身の堀井さんとの登頂はこれまたうれしかったです。

塚 : 天候にも恵まれて、しろ池では紅葉と海谷山塊の鋸岳、鬼ヶ面山、そして駒ヶ岳が美しく眺めることができた。山頂では雨飾山と後ろ立山連峰の大展望が広がっていました。また大網峠のどこまでも続くブナ林が綺麗でした。



ブナ林を背に休憩



しろ池にて



1 年半ぶりの完歩 戸倉山

堀井 泰則

1 週間前の 11 月 9 日「富士を愛でる山旅」宝永山登山は、歩き始めてすぐにパーティーから遅れてしまった。そして、なんとか第一宝永火口縁にたどりついて、そこから宝永火山火口跡の底部まで下り、山頂めざして進む三島野 SC パーティーを目で追いながらそこで撤退した。今の自分の体力から“しかたがない”と思いつつも、そんな結果を当初から想定していたにもかかわらず“一人途中撤退”の無念さ、敗北感みたいものが心に残った。

そして、戸倉山。ネットで調べると登山口からの累積標高差は 468m とある。過去 2 度、なんの苦も無く登頂した記憶もあり、今の体力でもなんとか“登れるだろう”と判断して参加を申し込んだ。リーダーに「しろ池が角間池で撤退するかも・・・」とことわりを入れて。

悪天候の予報がずれて、高曇りの空から時折陽が射す。秋色に彩る樹々で晩秋のたたずまいの山は“山粧う”の終盤を迎えていた。落葉した樹々からもれる陽射しが山肌に届いて明るい。そして、登山中に樹間越しに見せてくれる海谷山塊（頸城駒ヶ岳・鬼ヶ面山・鋸山・雨飾山）の険しい岩の稜線の景観は素晴らしい山岳風景を見せてくれた。

私が昨年病気で昨秋 50 日近い長い入院を余儀なくされ、退院したのが丁度 1 年前。加齢もあって著しく体力が衰え、退院当時、僅かな段差さえ支え無しに上がれない状態となってしまうことがショックだった。そして、三島野 SC の企画立案にかかわりながらもその企画への参加はもちろん“見送り”が続いた。今年に入って、4 月の光城山・長峰山と 6 月の高ボッチ山・美ヶ原は車の運転手として、そして医王山クリーンハイクは豚汁づくりの要員として参加させてもらった。歩けなかったけれど、それでもみんなと山と関わることが楽しかったし嬉しかった。そして、「富士を愛でる山旅」に無理を承知で参加し前述のようになっていたらく。そして戸倉山だった。しろ池から本格的登山道となつて、少しずつ遅れる私に付いて登ってくれるメンバーに励まされながら山頂に立つことができた。

私が登山口から下山口までコースを完歩したのは、昨年 2023 年 6 月の福井の日野山以来およそ 1 年半ぶりのことでした。登山歴 30 年、北アルプスをはじめ多くの山や雪の山々などを登ってきましたが、そのことが“夢かうつつか幻か”となっている今の自分に精いっぱいでしたが、登山を完遂させてくれたリーダーと三島野 SC メンバーに感謝したい。これからも少しでも体力の回復を図るために“やわやわ”とトレーニングをしながら、山への意欲を持ち続けたいと思っています。



〔三島野スポーツクラブ世話人会〕

任務分担	氏 名	住 所	TEL	携帯
代 表	岩井 富雄	射水市宝町 1364-35	57-8180	090-5177-9255
副代表	的場 邦夫	氷見市十二町 1037-36	74-6434	090-4320-5325
副代表	堀井 泰則	高岡市石瀬 748-6	25-2792	090-1314-6394
会計担当	塚 良昭	射水市寺塚原 226	84-1162	080-8033-7427

世話人会は、荒井英治、川渕順正、棚田清志、新田俊明、山本則夫、石黒洋子、加藤日出子、守田清子と上記の4名で構成します。

〔監事〕草 進、浦 幸江 〔相談役〕山田 格、林 憲彦

12月の世話人会開催 12月3日（火）と12月17日（火）午後2時から。会場は「はなみずき」です。
尚、今月は来年の企画も検討する予定です。お気軽に足を運んでください。

会報編集担当 会報に記載する原稿は下記のアドレスに送ってください。

堀井泰則 horii.yasunori@rouge.plala.or.jp

甲かほる kab@p2.tcnnet.ne.jp

松田理恵子 krbara@p2.tcnnet.ne.jp



会報『三島野スポーツクラブ』をインターネットで見るとするには、まず、「スポーツ連盟とやま」を検索し、次に富山県連盟、次の画面の「三島野スポーツクラブ」をクリックし、次の画面の「会報」をクリックすると見ることができます。

ホームページへのアクセスは http://sportstoyama.namaste.jp/99_blank.html を入力して検索してください。また、スマホの場合は右のQRコードを利用してください。

全ページをカラー写真で見ることができます。



編 集 後 記

- ・つい最近まで20度を超える日があったと思ったら、突然寒さがやってきた。慌てて暖房器具や冬の衣料を準備しました。タイヤ交換の予約も完了。いつ雪が来てもOK！
- ・労山県連登山「文殊山」は天気が回復していい交流登山になったようで何より。しかも、「文殊やまのぼり祭」がにぎやかに開催されていたとか。わずか365mの里山ですが、地元で愛されている山なんですね。まさに“山高きが故に尊からず”です。
- ・“富士を愛でる山旅”天気が好転回して、一日目宝永山は雨予報が後日にずれこんでバッチリ！とはいえ、本来なら雪があって当然の時季の2693mの山ですから。しかし、遠くてなかなか行けないですよ、静岡県側に回り込む宝永火口へは！帰りの車中でもう来年の富士を愛でる山旅の話題が出たとか…。
- ・緊急に企画した戸倉山。晩秋という季節を体中に感じさせてくれました。山頂からの360度の展望や葉を落としたブナ林や海谷山塊の景観は感動的だったと皆が異口同音に言ってくれて、緊急提案して実施した甲斐がありました。季節を変えて登るのも一興かもしれません。
- ・1月・2月・3月の企画を世話人会で決め、提案しました。雪国育ちでもこの時季はこもりがちになりますが、雪の中で汗をかきましょう。雪を踏んで！
- ・歳を重ねると「月日のたつのが早くなる」といいますが、もう12月。今年は頑張れましたか？いや、頑張らなくてもいいんです。これからも元気に生きる心意気があれば…と思います。良いお年を！